

令和4年2月2日

氷見市長 林 正之 様

氷見市総合計画審議会
会長 中村和之

第9次氷見市総合計画前期基本計画について（答申）

令和2年9月25日付け創第60号をもって当審議会に諮問のありました第9次氷見市総合計画前期基本計画について、慎重に審議した結果、下記の意見を付して別添のとおり答申します。

記

- 1 人口減少や少子高齢化に伴う様々な課題があることに加え、新型コロナウイルス感染症による市民生活や経済など多方面に影響がある中、「人 自然 食 文化で未来を拓く交流都市 ひみ」の実現に向けた取組を積極的に進めていくことを要望します。
- 2 “誰一人取り残さない”持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、市民や団体、企業など多様な主体と協働して、SDGsの達成を意識した取組を推進することを要望します。
- 3 複雑かつ多様化している諸課題の解決や行政サービスの更なる向上のため、デジタル技術を活用した取組を推進することを要望します。
- 4 本計画の実施にあたっては、計画に掲げた成果指標の達成に向け、適切な施策の評価・検証を行い、効率的・効果的に取組を推進されるよう要望します。

その他、審議過程において出された各施策等に対する個別の意見・要望等についても、十分検討されるようお願いいたします。